

社会科教育講座 渡邊 伸一 教授



「公害・環境問題」と「奈良の歴史文化」



キーワード 公害・環境/ 奈良/ 水銀/ シカ/ 怨霊（御霊）

どのような研究をなぜ行っているか

○これまで

公害・環境問題の社会学的研究

- 問題の「加害－被害」構造を解明して、現状の改善に少しでも貢献したい、という思いと、二度と同じような問題が起きないように教訓化し、後世に伝えたいため。
- 研究事例：長野県諏訪における初期自然保護運動、新潟水俣病、関川水俣病（新潟県）、イタイイタイ病・カドミウム問題（富山県、石川県、兵庫県、長崎県、群馬県）、大気汚染と重金属汚染問題（大分県）、土呂久におけるヒ素汚染問題（宮崎県）、「奈良のシカ」による鹿害（農業・人身被害）問題（奈良県）等。

○現在の取り組み

水銀・シカ・怨霊に関わる歴史社会学的研究 —奈良を中心に—

- 奈良の歴史文化の理解には、この3つの要素・視点からの研究が不可欠だと考えるため。

〔水銀〕古代からの長い水銀利用の功罪史 ←公害研究からの展開

〔シカ〕「春日神鹿」の誕生と、春日若宮おん祭創始との関わり ←鹿害研究からの展開

〔怨霊〕奈良は怨霊信仰の揺籃の地。日本文化理解における怨霊信仰の重要性を探求 ←初期水俣病支援者運動の旗の文字は「怨」！

水銀と奈良との密接な関わりの例

Hg

建立当時のイメージ

液体金属（融点-38.8℃）
多くの金属と合金（アマルガム）をつくる
奈良の大仏の金メッキに使われた
水俣病はメチル水銀が原因

水銀 200.6
80 Mercury

「元素周期表」での水銀Hgの説明
文部科学省 制作/著作（第11版）

研究成果をどのように活用し、どのような貢献ができるか

- 論文、書籍、講演、シンポジウム、マスメディア等で社会に発信
- 公害・環境問題の理解促進と現状改善への問題提起
- 水銀・シカ・怨霊の研究によって奈良の歴史文化を再発見！

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- 新潟水俣病被害者団体作成の現地視察用のガイドブックに研究成果が採用
- イタイイタイ病の社会学的研究に関する講演（イタイイタイ病対策協議会ほか主催 2004/11/27、富山県立イタイイタイ病資料館主催2014/6/21）
- NHK「歴史秘話ヒストリア —奈良 ここにシカない奇跡」（2016/5/13）に出演し解説
- 「第23回アジア地下水ヒ素フォーラム」（2018/11/23）にて講演とシンポジスト（アジア砒素ネットワークほか主催、宮崎県後援）
- 放送大学奈良学習センターでの面接授業「御霊・鹿・水銀からみる奈良」（2021/10/30-31）
- 奈良県「奈良のシカ」保護管理計画検討委員会委員（2013～2022現在）等

